

踏切道のさらなる安全性向上を目指し 平面式踏切障害物検知装置の運用を開始します

南海電気鉄道株式会社（社長：遠北 光彦）では、踏切道のさらなる安全性向上のため、平面式踏切障害物検知装置の運用を開始します。同装置の実証試験を1年6カ月行い、検知性能などに問題がないことを確認できたことから、このたび運用開始することを決定しました。今後、踏切道のさらなる安全性の向上を図るため、従来からの光式障害物検知装置を、順次平面式踏切障害物検知装置に置き換え、同装置の設置箇所を拡大していきます。

詳細は以下のとおりです。

1. 導入箇所 南海本線 二色浜2号踏切道(大阪府貝塚市浦田80先)
高野線 初芝5号踏切道(大阪府堺市東区日置荘西町3丁19-31先)
2. 運用開始日 二色浜2号踏切道：2020年2月20日（木）初列車から
初芝5号踏切道：2020年2月7日（金）初列車から
3. 型式 日本信号製 2DLS式踏切障害物検知装置
4. 特徴 平面式踏切障害物検知装置は、レーザー光により物体までの距離を測定することで踏切道内の物体の有無を判定することが可能な装置です。従来の光式障害物検知装置が線検知（図1）を行うのに対し、平面式踏切障害物検知装置は面検知（図2）を行うことが可能となります。これにより踏切道内の車いす、歩行者、自転車などに対する検知性能を高めることができます。

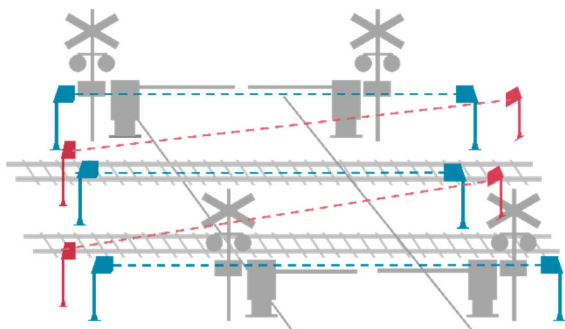


図1：光式障害物検知装置

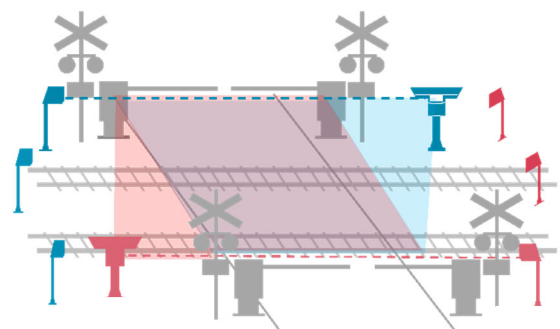


図2：平面式踏切障害物検知装置

以上